

# サンプル L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X

名前（学籍番号 xxxxx）

2025 年 x 月 y 日

## 1 序

このサンプル L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X ファイルでは、2 章では数式について、3 章では表について、4 章では図について、5 章ではソースコードの出力の仕方について、サンプル例を示した。また、レポートの書き方の勉強には、文献 [1] の一読を勧める。

## 2 数式とは？

20 世紀の物理学の有名な公式 (1) と (2) について考える。

$$E = mc^2 \tag{1}$$

$$i\hbar \frac{\partial |\Psi\rangle}{\partial t} = H|\Psi\rangle \tag{2}$$

## 3 表とは？

表 1 に集計結果を示す。

表 1 性別集計

男性	10 人
女性	10 人

## 4 図とは？

図 1 はどおーだよ。

## 5 コードとは？

コード 1 は有名なサンプルコードです。



図 1 どおー

コード 1 ハローワールド

---

```
1 package main
2
3 import "fmt"
4
5 func main() {
6     fmt.Println("Hello World")
7 }
```

---

## 6 まとめ

読みやすいレポートを書きましょう。

## 参考文献

- [1] 木下 是雄, 中公新書「理科系の作文技術」, 1981.